



16Bit PC Card Adapter PCI Board

REX-PCICA1

User's Manual

2002年5月



第 4.0 版

ラトックシステム株式会社

目次

第一章 はじめに	1
1-1.はじめに.....	1
1-2.注意・制限事項.....	1
1-3.梱包内容の確認.....	2
第二章 セットアップ	3
2-1.Pseries ドライバのインストール.....	4
2-2.REX-PCICA1 の装着.....	5
2-3.Windows 98SE へのインストール.....	9
2-4.Windows Me へのインストール.....	12
2-5.Windows 2000 へのインストール.....	13
2-6.Windows XP へのインストール.....	15
2-7.Windows NT4.0 へのインストール.....	17
第三章 トラブルシューティング	18
3-1.Windows 98SE/Windows Me 環境でご利用の場合.....	18
(1)最新 BIOS でご利用されていますか?	18
(2)PC カードを挿入するとシステムがフリーズもしくは認識されない.....	18
(3)PC カードの認識に 60 秒以上時間がかかる.....	18
(4)モデム・データ通信カードとの通信時エラーが表示される.....	19
3-2.Windows 2000 環境でご利用の場合.....	20
(1)最新 BIOS でご利用されていますか?.....	20
(2)Win2000 Service Pack 2 へアップデートされていますか?.....	20
(3)インストール完了後の再起動でシステムが起動しない.....	20
(4)モデム・データ通信カードで通信できない.....	21
3-3.Windows NT4.0 環境でご利用の場合.....	23
(1)最新 BIOS でご利用されていますか?.....	23
(2)WinNT4.0 Service Pack 6 以上へアップデートされていますか?.....	23
(3)ATA Flash カードが使用できない.....	24
サポートセンターへのお問い合わせ	25
保証と修理について	26

第一章 はじめに

1-1. はじめに

この度は 16bit PC Card Adapter をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。未永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。本書は本製品の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。本製品を正しく安全にご使用いただくため、ご使用前に必ず本書をお読みください。本製品をご利用になる前に必ず下記注意事項と第三章のトラブルシューティングをご一読願います。

1-2. 注意・制限事項

● PSeries ドライバのセットアップ

REX-PCICA1 を PCI スロットに取り付ける前に、必ず本製品添付ドライバ CD にある PSeries ドライバセットアッププログラムを実行しドライバのインストールを行って下さい。

● デスクトップパソコンへの取り付け

REX-PCICA1 の PCI ボードは PCI スロットの最下段に装着し PC カードユニットはフロントベイの最下段に取り付けて下さい。PCI ボードを PCI スロットの最上段に取り付けた場合は、隣接する PCI スロットには他のボードを装着できなくなります。

また、パソコンケースの形状によってはフロントベイまでケーブルが届かない場合があります。その場合は、最上段の PCI スロットに本製品を取り付け、隣接する PCI スロットに他のボードを装着しないようにして下さい。

● 3.3V 仕様の PC Card 使用上の注意点

3.3V 専用 16 ビット PC Card を REX-PCICA1 のスロットに挿入される場合は、必ず PSeries ドライバがインストールされていることを確認して下さい。PSeries ドライバがインストールされていない状態でスロットに挿入すると、PC カードが破損する恐れがあります。

CardBus カードには対応していませんので、誤って挿入しても CardBus カードは検出されません。



OS 標準の PC カードドライバは PC カードが挿入されると、カードに 5V を供給しカード内部の情報を読み出します。読み出した情報より 5V/3.3V の判別を行い、3.3V 専用 PC カードの場合は電源電圧を 5V から 3.3V に切り替えます。従って、3.3V 専用カードで 5V 耐圧のない製品については破損する恐れがあります。これにより、万一お客様の PC カードが破損した場合、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承願います。

● ハードディスクデータのバックアップ

本ハードウェアおよびソフトウェアをインストールし使用される環境にあるお客様の大切なデータおよびプログラムは、喪失の事態を防ぐためにインストールを行う前に、他の場所に保存されることをお勧めします。

● 動作保証

お客様が本ハードウェアおよびソフトウェアをインストールされる環境はさまざまです。弊社で検証を行っている環境と必ずしも同一の環境ではありません。

従って、お客様の環境と弊社での環境との違いにより、結果に差違が生じる場合があります。弊社はあらゆる環境での動作保証を行うものではありません。

本製品の運用を理由とする損失、免失利益などの請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので予めご了承願います。

1-3. 梱包内容の確認

本製品をご利用になる前に下記梱包内容をご確認願います。

万一、不足の品がございましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまでご連絡願います。

REX-PCICA1 PCI ボード	1
PC カードドライブフロントベイ	1
フラットケーブル 600mm 長	2
フラットケーブル 500mm 長	2
3.5" →5" アタッチメントキット	1
PSeries ドライバセットアップ CD-ROM	1
愛用者カード/保証書	1
本ユーザーズマニュアル	1

第二章 セットアップ

本製品のセットアップは以下の手順で進めます。各手順に従ってセットアップを行ってください。



1) Pseries ドライバのインストール

2-1.へお進みください。



2) 本製品の装着

2-2.へお進みください。



3) 各 OS でのインストール

Windows 98SE をご使用の方は、2-3. へお進みください。

Windows Me をご使用の方は、2-4. へお進みください。

Windows 2000 をご使用の方は、2-5. へお進みください。

Windows XP をご使用の方は、2-6. へお進みください。

Windows NT4.0 をご使用の方は、2-7. へお進みください。

2-1. PSeries ドライバのインストール

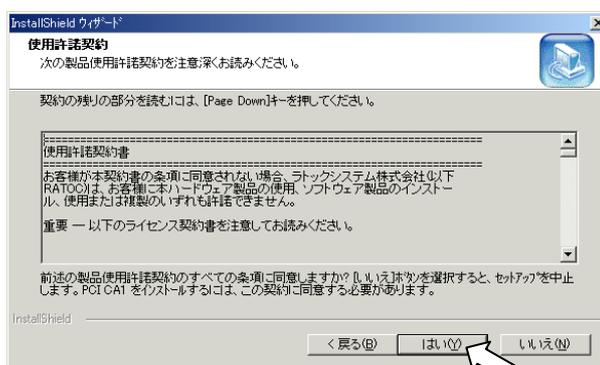
Step 1.

本製品添付の CD-ROM をセットし SETUP.EXE を起動します。右のウィザード画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。



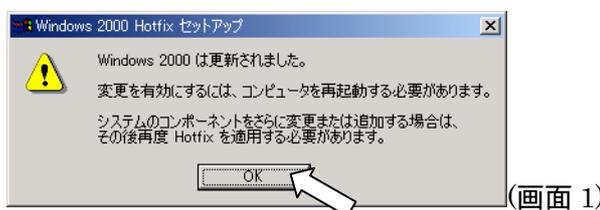
Step 2.

使用許諾契約の内容をご確認の上、同意される場合は「はい」をクリックして次に進みます。



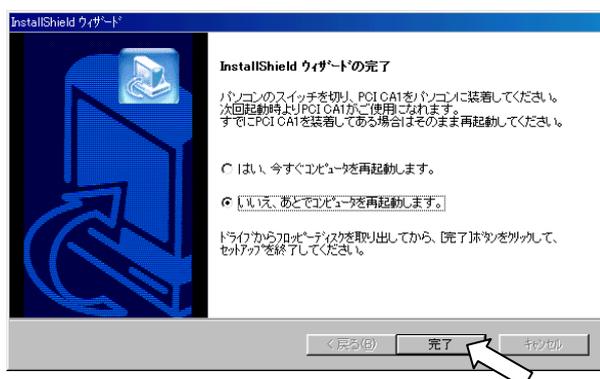
Step 3. (Windows2000 の場合のみ)

Windows2000 ご使用の方は、右の画面 1 が表示されますので、「OK」をクリックしてください。



Step 4.

ドライバのインストールが行われ、右の終了ダイアログが表示されます。「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」を選択し、「完了」をクリックします。以上で、ドライバのセットアップは終了です。REX-PCICA1 を装着しますので、一旦パソコンを終了してください。



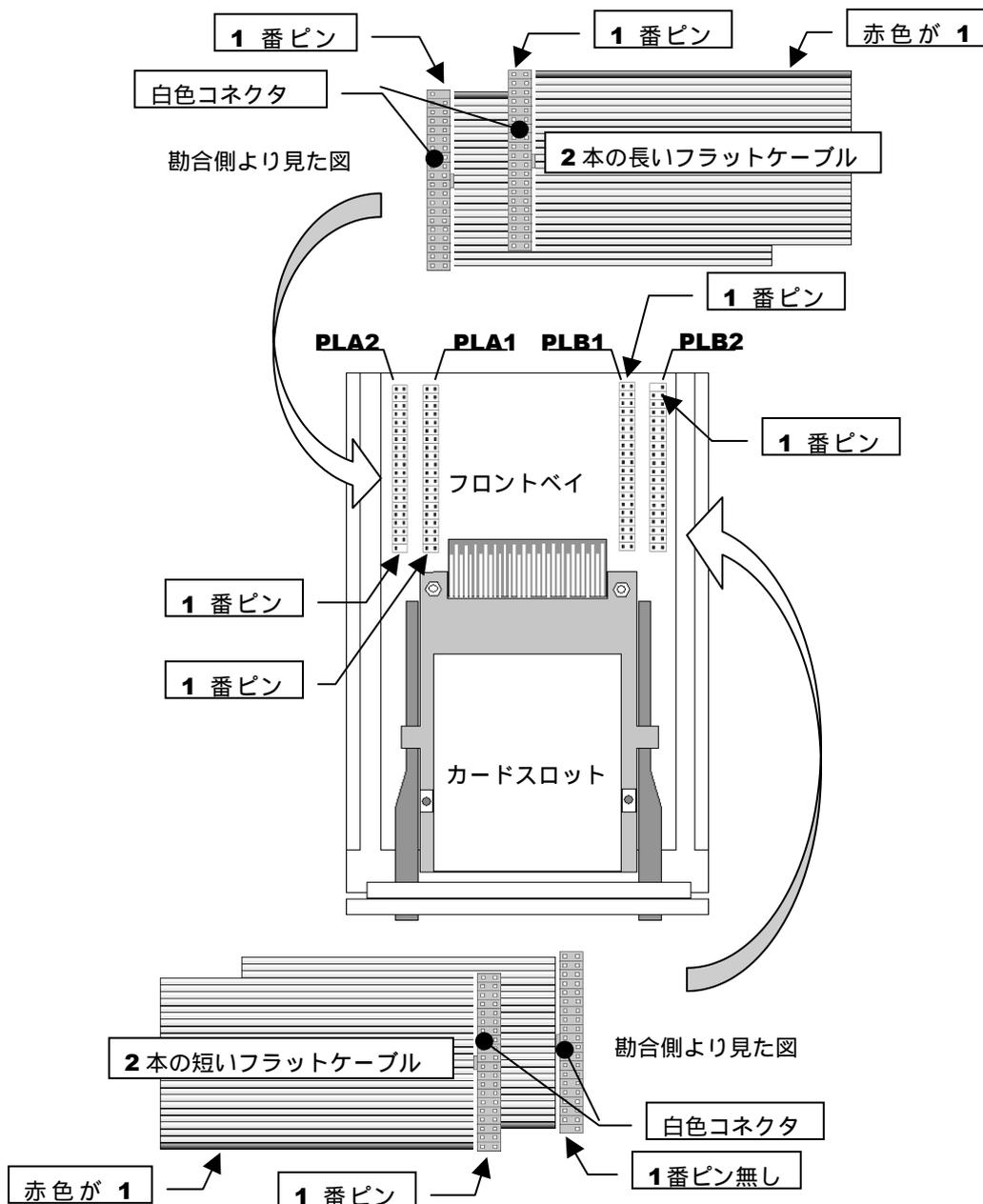
アンインストールされる場合は、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」から削除して下さい。

2-2. REX-PCICA1 の装着

下記操作は、必ず **2-1.Pseries** ドライバのインストールを終えてから行ってください。

Step1.

最初に PCI ボードとフロントベイ基板上的フラットケーブル接続コネクタ 4 箇所近傍にシルク印刷されている PLA1, PLA2, PLB1, PLB2 のコネクタ識別名を確認して下さい。フラットケーブルは PCI ボード上の PLA1 とフロントベイ上の PLA1 の対で接続します。PLA2, PLB1, PLB2 についても同様です。次に 2 本の長い方のフラットケーブル (ケーブル長 600mm) を用意します。フラットケーブルのコネクタ色が白色の方を、下図のようにフロントベイの PLA1, PLA2 に接続します。下図に示すように 1 番ピンの位置に注意して下さい。短い方のフラットケーブル (ケーブル長 500mm) についても、同様に白色の方のコネクタを PLB1, PLB2 に接続します。



ケーブル(コネクタ)の向きを間違えますと、破損、発火の恐れがあります。十分ご注意ください。万一、破損、発火などにより本製品およびパソコンが故障しても、弊社は一切の責任を負い兼ねますので、ご了承ください。

本製品はデスクトップ PC の 3.5 インチベイおよび 5 インチベイのいずれにも取り付けが可能です。
3.5 インチベイに取り付ける場合は、**Step 2** へお進みください。
5 インチベイに取り付ける場合は、**Step 4** へお進みください。

Step 2.

パソコンの電源が切れていることを確認し、
3.5 インチベイに挿入してください。



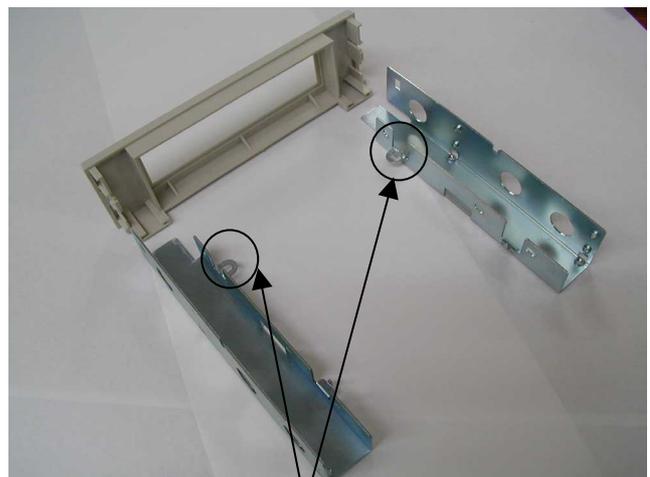
Step 3.

添付のネジで側面を両側 4 ケ所固定してください。次に **Step 8.**へお進みください



Step 4.

5 インチベイに取り付ける場合は、組み立て式の 5 インチベイマウンターキットの組み立てを行います。右図のように右レール、左レールを前面パネルにスライドさせて、完全に取り付けてください。



ネジ穴

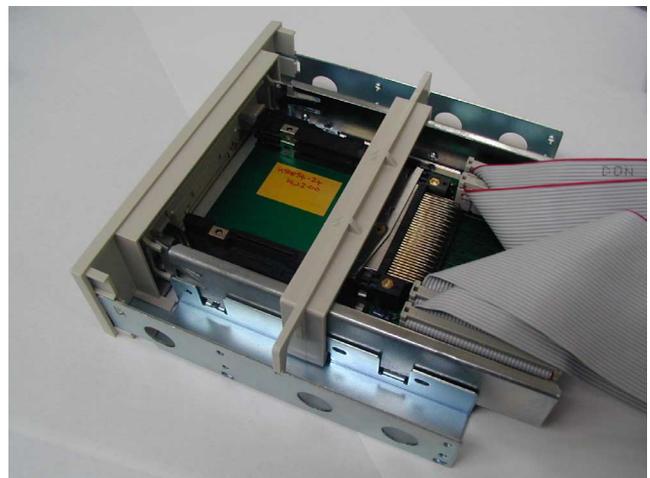
Step 5.

フロントベイ本体を丸印で示す金具の位置を良く確認し取り付け、**Step 4.**で示すネジ穴を添付のネジで固定してください。



Step 6.

留め具を差込み固定します。

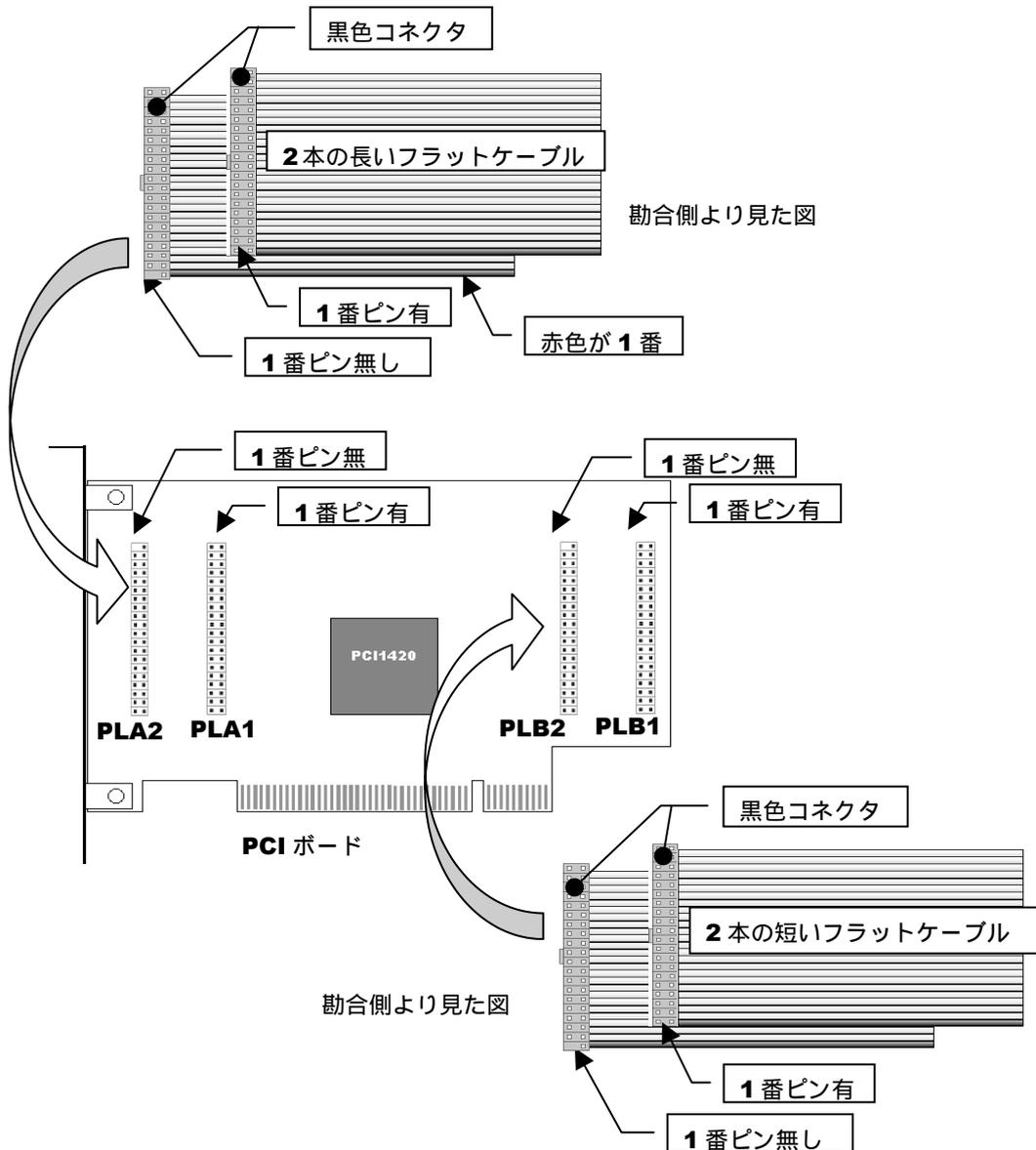


Step 7.

パソコンの電源が切れていることを確認して5インチベイに挿入し、**Step 3.**で示すように添付のネジで固定してください。
次に **Step 8.**へお進みください



Step 8. PCI ボードについてもフロントベイと同じ要領で下図のように接続します。

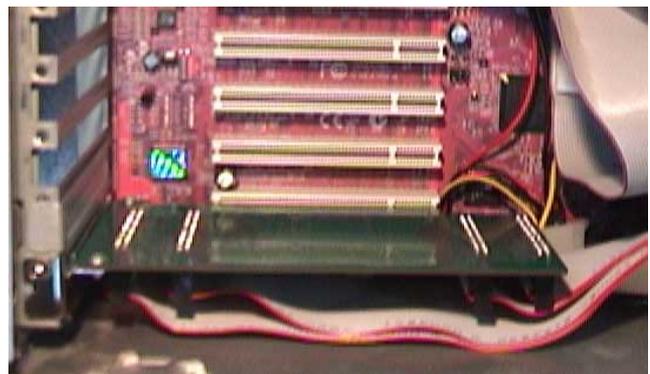


ケーブル(コネクタ)の向きを間違えますと、破損、発火の恐れがあります。十分ご注意ください。万一、破損、発火などにより本製品およびパソコンが故障しても、弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

Step 9.

PCI ボードをパソコンの PCI スロットに装着します。下記事項に注意して装着します。

- a) スロットに対し、ボードが傾いた状態でご使用になると本製品やパソコン本体が破損する恐れがあります。
- b) PCI ボードの金色の接触部が PCI ソケットに完全に見えなくなるまで挿入します。
- c) PCI ブラケットのネジ止めを行います。



以上でパソコンへの取り付けは終了です。パソコンの電源を投入すると、Windows のハードウェアウィザードが新しいデバイスとして自動的に REX-PCICA1 を検出します。

Windows 98SE をご使用の方は、2-3. へお進みください。

Windows Me をご使用の方は、2-4. へお進みください。

Windows 2000 をご使用の方は、2-5. へお進みください。

Windows XP をご使用の方は、2-6. へお進みください。

Windows NT4.0 をご使用の方は、2-7. へお進みください。

2-3. Windows 98SE へのインストール

Step 1.

REX-PCICA1 の装着後、パソコンの電源を入れると新しいハードウェアの追加ウィザードが起動しますので、「次へ」をクリックします。



Step 2.

「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」を選択して、「次へ」をクリックします。



Step 3.

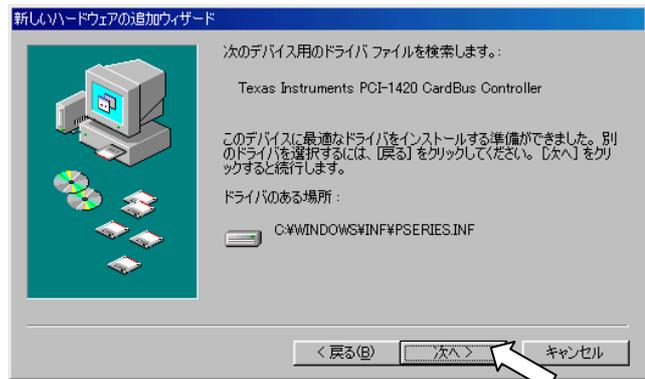
「次へ」をクリックします。

選択肢にチェックが入っている場合は、全てのチェックを外して下さい。



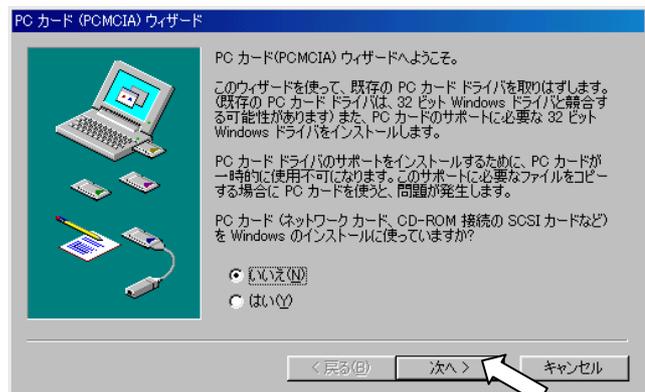
Step 4.

「次へ」をクリックします。



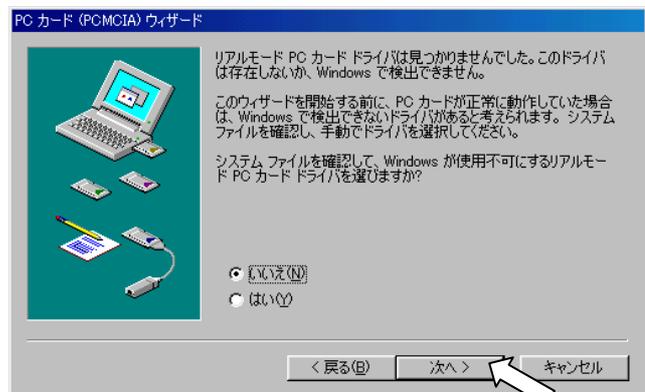
Step 5.

PC カード(PCMCIA)ウィザードが起動されます。この時点で PC カードドライバは、組み込まれていないので「いいえ」を選択して、「次へ」をクリックしてください。



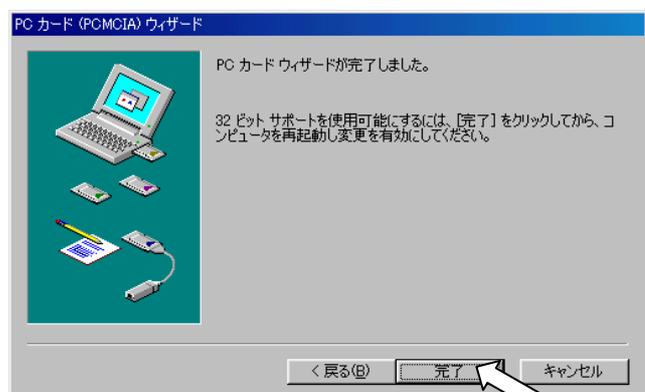
Step 6.

ここでも、リアルモードの PC カードドライバは組み込まれていないので「いいえ」を選択して、「次へ」をクリックしてください。



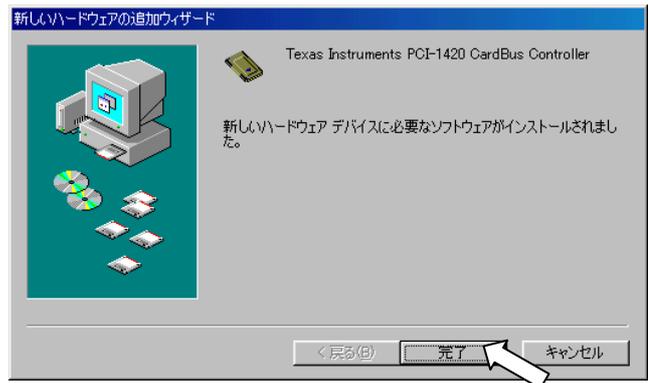
Step 7.

「完了」をクリックして PC カードウィザードを終了してください。



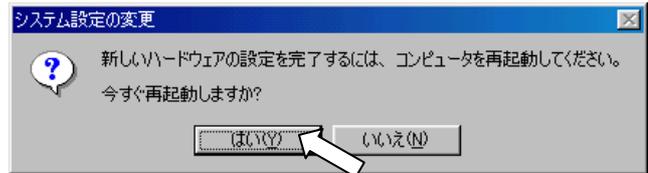
Step 8.

「完了」をクリックしてください。



Step 9.

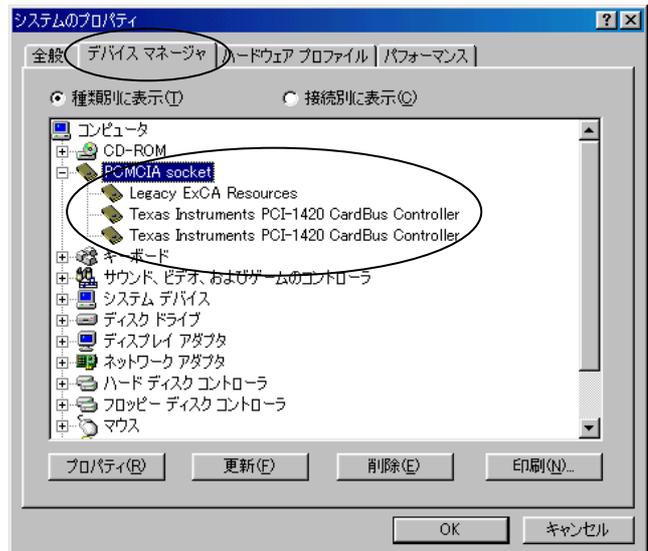
Step 1/2/3/4/8 の画面が再度表示されますので、同様の操作を行ってください。「再起動しますか？」の画面が表示されますので、「はい」をクリックしてください。



Step 10.

「マイ コンピュータ」を右クリックして「プロパティ」を選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。正常にインストールが行われている場合、右図のように REX-PCICA1 が追加されています。

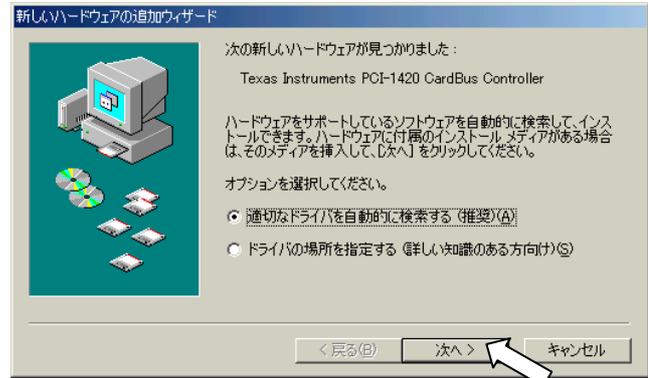
以上でインストールは完了です。



2-4. Windows Me へのインストール

Step 1.

REX-PCICA1 の装着後、パソコンの電源を入ると新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。「適切なドライバを自動的に検索する(推奨)」を選択して、「次へ」をクリックします。



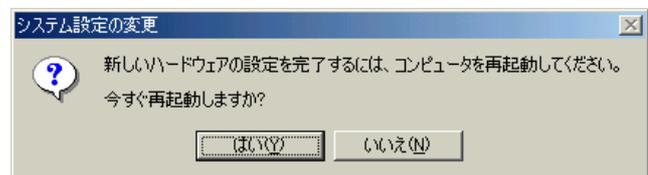
Step 2.

「完了」をクリックしてください。



Step 3.

「再起動しますか?」の画面が表示されますので、一旦、「いいえ」をクリックしてください。Step1/2/3 の画面が再度表示されますので、今度は、「はい」をクリックしてください。



Step 4.

「マイ コンピュータ」を右クリックして「プロパティ」を選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。正常にインストールが行われている場合、右図のように REX-PCICA1 が追加されています。

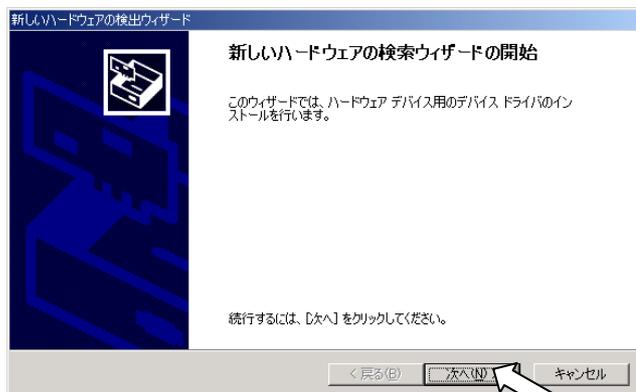
以上でインストールは完了です。



2-5. Windows 2000 へのインストール

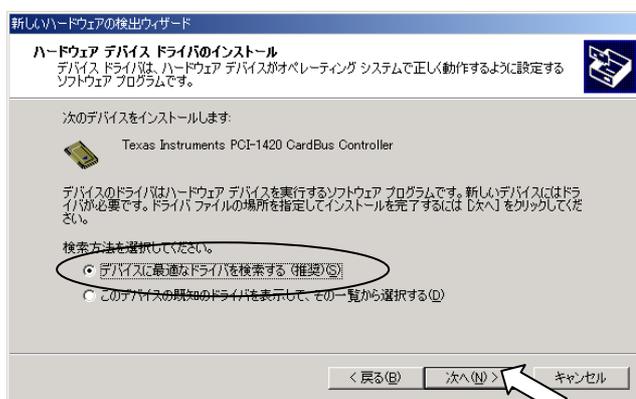
Step 1.

REX-PCICA1 の装着後、パソコンの電源を入れると新しいハードウェアの検出ウィザードが起動します。「次へ」をクリックします。



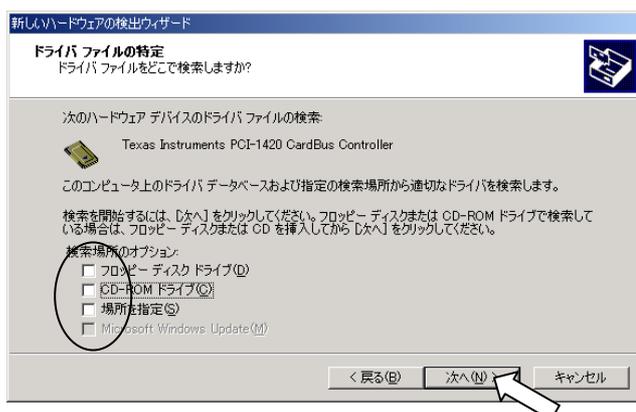
Step 2.

「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択して、「次へ」をクリックします。



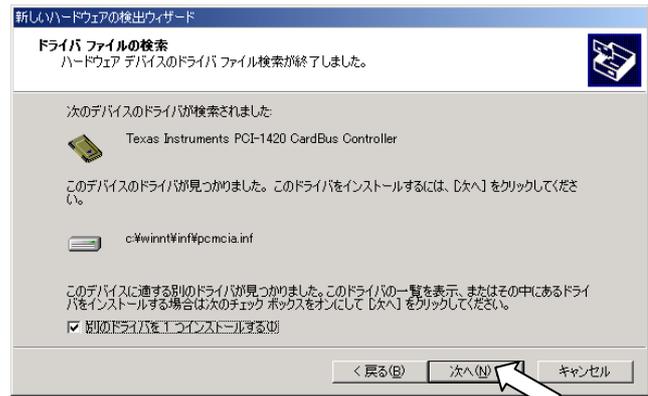
Step 3.

右記画面では全ての項目からチェックを外し、「次へ」をクリックします。



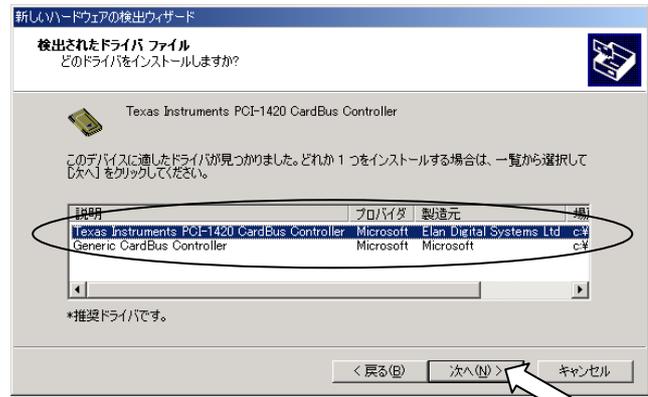
Step 4.

「別のドライバを1つインストールする」を選択し、「次へ」をクリックします。



Step 5.

「製造元」が「Elan Digital System Ltd」の「Texas Instruments PCI-1420」を選択し、「次へ」をクリックします。



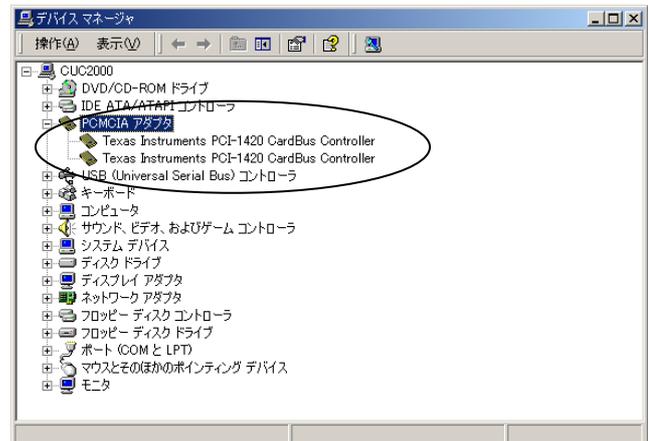
Step 6.

「完了」をクリックします。Step 1/2/3/4/5/6の画面が再度表示されますので、同様の操作を行い再起動をしてください。



Step 7.

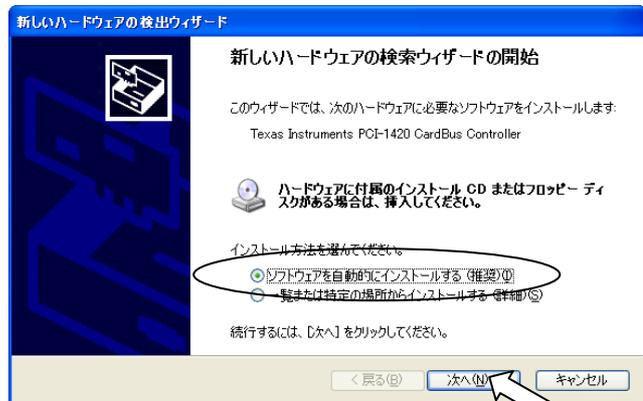
「マイ コンピュータ」を右クリックして「プロパティ」を選択し、「ハードウェア」タブをクリックしてください。「デバイスマネージャ」をクリックします。正常にインストールが行われている場合、右図のように REX-PCICA1 が追加されています。



2-6. Windows XP へのインストール

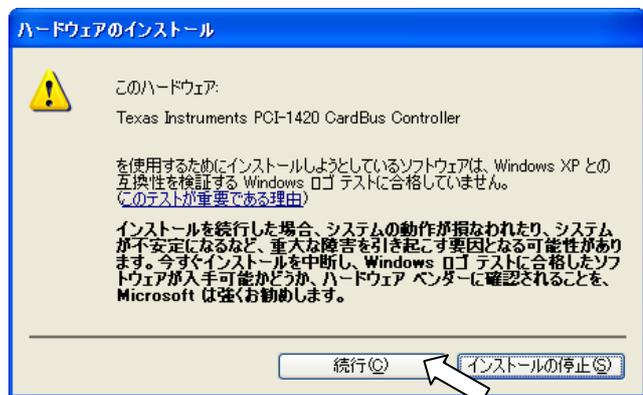
Step 1.

REX-PCICA1 の装着後、パソコンの電源を入
ると新しいハードウェアの検出ウィザードが
起動します。「ソフトウェアを自動的にインス
トールする(推奨)」を選択し、「次へ」をクリ
ックします。



Step 2.

「続行」をクリックします。



Step 3.

「完了」をクリックします。**Step 1/2/3** の画
面が再度表示されますので、同様の操作を行い
再起動をしてください。



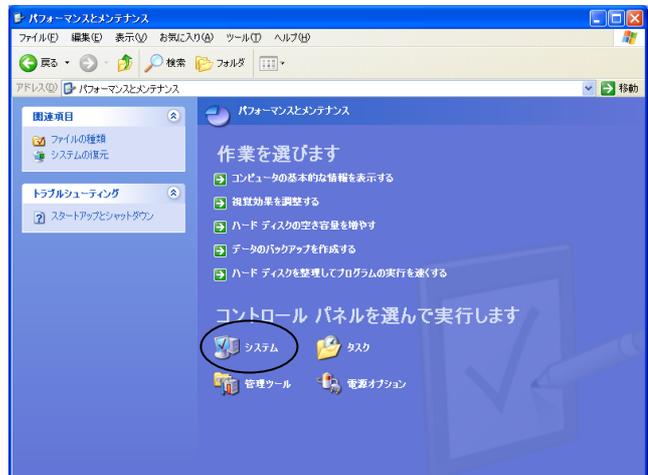
Step 4.

「スタート」ボタンから、「コントロールパネル」選択後、「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。



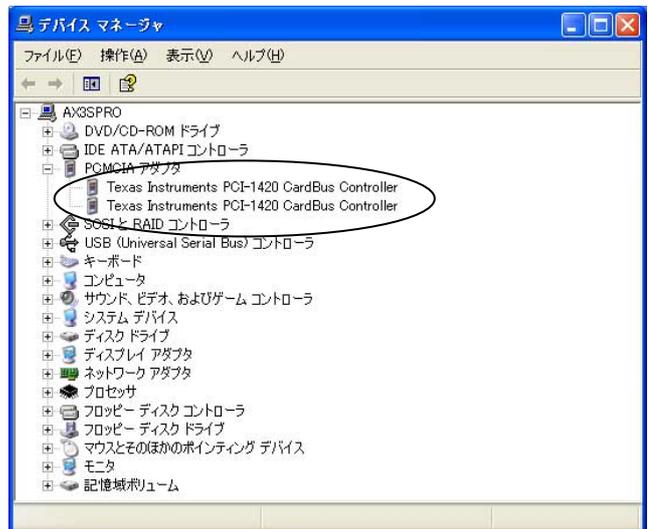
Step 5.

「システム」をクリックします。



Step 6.

次に、「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。正常にインストールが行われている場合、右図のように REX-PCICA1 が追加されています。



2-7. Windows NT4.0 へのインストール

Step 1.

REX-PCICA1 の装着後、Windows NT4.0 を起動して、アドミニストレータのユーザー権限でログオンしてください。ドライバが自動的にインストールされます。「マイ コンピュータ」をダブルクリックして「PC カード」をダブルクリックしてください。



Step 2.

右図のように PC カード(PCMCIA)デバイス画面が起動すれば、正常に動作しています。

以上でインストールは完了です。



PSeries ドライバのインストールの後に Windows NT Service Pack へのアップデートを行うと OS 標準の PC カードドライバが有効になります。この状態で、3.3V 仕様の 16 ビット PC カードを挿入すると「1-2. 注意・制限事項」で説明したようにカードが破損する恐れがありますのでご注意ください。Service Pack へのアップデートを行った場合は、必ず PSeries ドライバの再インストールを行って下さい。

第三章 トラブルシューティング

3-1.Windows 98SE/Windows Me 環境でご利用の場合

(1) 最新 BIOS でご利用されていますか？

Win98/Me

パソコンの BIOS を更新することにより、パソコンが起動できないとか PC カードが使用できないといった問題が回避されることもあります。最新 BIOS をご使用されることをご確認願います。



弊社の製品サポートをお受けになる場合、BIOS のバージョン確認をさせていただくことがあります。ご利用になられている BIOS より新しい BIOS がマザーボードメーカーのホームページにアップされている場合は、最新バージョンに更新し、ご確認頂いた後、サポートへご連絡ください。

(2) INTEL(R) Desktop Board D815EEA でページフォルト

Win98/Me

“INTEL(R) Active Monitor”をインストールした状態で PC カードを挿入すると Page Fault が発生し Windows がクラッシュします。Active Monitor をアンインストールすることにより不具合を回避できます。

(3) PC カードの認識に 60 秒以上時間がかかる

Win98/Me

ネットワークカードはスロットに装着しているがネットワークには接続していない環境で PC カードを挿入すると、システムが PC カードを認識するのに 60 秒以上の時間がかかります。この間、マウス等はフリーズした状態に陥ります。回避方法はデバイスマネージャからネットワークカードをディセーブルにするか、ネットワークのプロパティから TCP/IP のプロパティを開き手動で固定 IP アドレスを割り当てるようにして下さい。



ネットワークカードがインストールされている場合、Windows はデフォルトでネットワークカードの IP アドレスを DHCP サーバから自動取得するようになっています。ネットワークカードが物理的にネットワークに接続されていない状態にあると、DHCP クライアントソフトウェアはタイムアウト期間が経過するまで約 10 秒間、接続を待ち続けます。Windows はその間フリーズした状態になります。

Windows が利用可能なリソースは限られています。それにより、PC カードが挿入されると Windows はリソースの再割り当て、PCI デバイスに対する IRQ の Share を再度調整し直します。この時、全ての PCI デバイスのドライバは一端停止されて再スタートされます。同じようにネットワークドライバについても再スタートが行われるために、上記のフリーズしたような状況が起こります。これにより、PC カードの挿入によりフリーズしたかのように感じられます。

(4) モデム・データ通信カードとの通信時エラーが表示される

Win98/Me

モデムカード・データ通信カードのインストールは正常にするが、実際通信を行おうとすると「ポートを開けません」というエラーメッセージが表示されることがあります。このような場合には手動で I/O もしくは IRQ リソースの設定を行う必要があります。設定変更は下記の手順で行います。



マイコンピュータの右クリックメニューより右図に示すシステムプロパティを表示します。該当するモデムカードのプロパティを表示します。



Fig.3-1

リソースを変更するために「自動設定」のチェックを取り外し、「基本に対する設定」より他の設定に変更します。この時、「競合するデバイス」欄に競合が表示されていないことを確認して下さい。競合はある設定は選択できません。



Fig.3-2

3-2.Windows 2000 環境でご利用の場合

(1) 最新 BIOS でご利用されていますか？

Win2K

パソコンの BIOS を更新することにより、パソコンが起動できないとか PC カードが使用できないといった問題が回避されることもあります。最新 BIOS をご使用されることをご確認願います。



弊社の製品サポートをお受けになる場合、BIOS のバージョン確認をさせていただくことがあります。ご利用になられている BIOS より新しい BIOS がマザーボードメーカーのホームページにアップされている場合は、最新バージョンに更新し、ご確認頂いた後、サポートへご連絡ください。

(2) Win2000 Service Pack 2 へアップデートされていますか？

Win2K

Win2000 ご利用の場合は、最新 Service Pack (SP2 以上) のアップデートを行って下さい。



弊社の製品サポートをお受けになると、Service Pack アップデートの確認をさせていただくことがあります。アップデートが行われていないとサポートが受けられません。

(3) インストール完了後の再起動でシステムが起動しない

Win2K

▶ BIOS PnP OS 設定変更

特定の環境で BIOS 設定の PnP OS が「No」になっていることがあります。この設定を「Yes」に変更することにより正常に起動するようになります。

BIOS 設定画面を起動するには、通常パソコン起動時に「Del」もしくは「F2」キーを押して下さい。

BIOS 設定に関する詳細は、マザーボードのマニュアル等をご参照していただくか、マザーボードメーカーにお問い合わせ願います。

▶ 他のカードとのリソース競合回避

システム BIOS が正しく競合しないリソースを割り当てられないために、システムが起動しないことが考えられます。PCI スロットに装着されている他のカードを順に取り外しシステムが起動できないかをご確認願います。また、REX-PCICA1 を取り付けられている PCI スロットの変更も合わせてご確認願います。

(4) モデム・データ通信カードで通信できない

Win2K

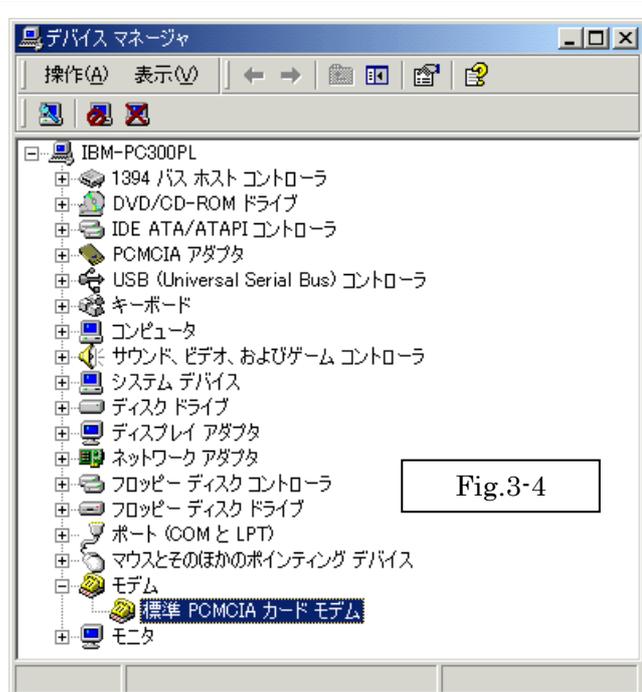
通信を行ったとき下記のようなエラーメッセージが表示され正常に通信できない、もしくはPCMCIAモデムカード」に黄色いイクスラメーションマーク「！」が表示される場合は以下の手順でリソースの手動設定を行います。



Fig.3-3

マイコンピュータの右クリックメニューより右図に示すシステムプロパティを表示します。ハードウェアタブのデバイスマネージャを開きます。

ご利用されている機器（右例では、「標準PCMCIAカードモデム」）を選択し、「操作」メニューの中の「プロパティ」を表示します。リソースの割り当てができない場合、「標準のPCMCIAモデムカード」に黄色いイクスラメーションマーク「！」が表示されます。



リソースタグを選択し、ここで他のリソースへの手動設定を行います。手動設定を行うために「自動設定」のチェックを外して下さい。



次に設定登録名のプルダウンリストより、例えば、「基本設定 0004」を選択します。



Fig.3-6

リソースの設定から最初に「I/O 範囲」を選択し「設定の変更(C)...」ボタンを押します。右図に示すように、「値」を変更して他のデバイスと競合しないように I/O 範囲を指定します。

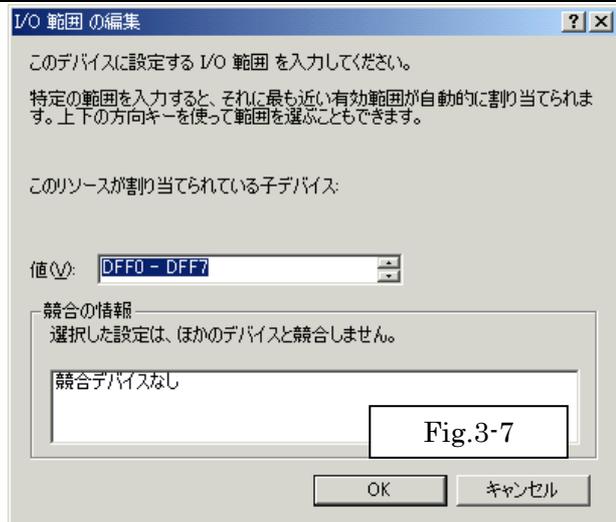


Fig.3-7

次にリソースの設定から「IRQ」を選択し「設定の変更(C)...」ボタンを押します。同様に「値」を変更して他のデバイスと競合しないように IRQ を指定します。

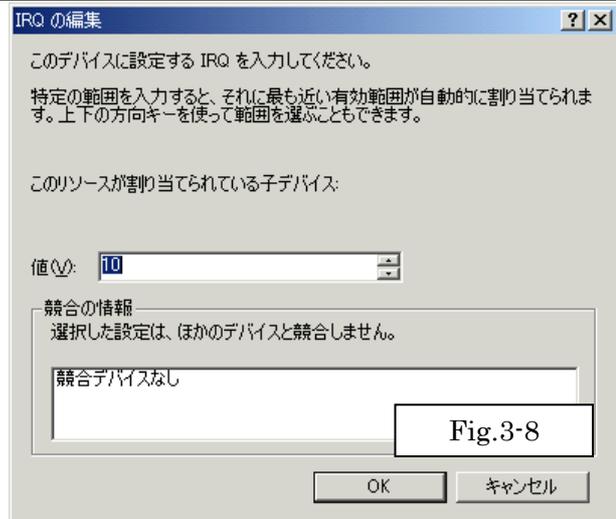


Fig.3-8

OK ボタンを押すと右のメッセージが表示されます。「はい」のボタンを押します。以上で手動設定の完了です。実際の通信をもう一度試みて下さい。

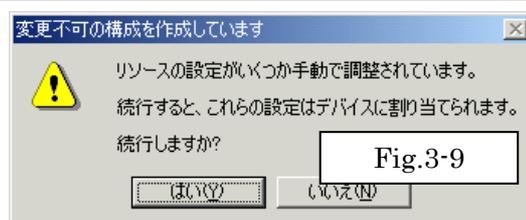


Fig.3-9

3-3.Windows NT4.0 環境でご利用の場合

(1) 最新 BIOS でご利用されていますか？

WinNT4.0

パソコンの BIOS を更新することにより、パソコンが起動できないとか PC カードが使用できないといった問題が回避されることもあります。最新 BIOS をご使用されることをご確認願います。



弊社の製品サポートをお受けになる場合、BIOS のバージョン確認をさせていただくことがあります。ご利用になられている BIOS より新しい BIOS がマザーボードメーカーのホームページにアップされている場合は、最新バージョンに更新し、ご確認頂いた後、サポートへご連絡ください。

(2) WinNT4.0 Service Pack 6 以上へアップデートされていますか？

WinNT4.0

WinNT4.0 ご利用の場合は、最新 Service Pack (SP6 以上) のアップデートを行って下さい。PSeries ドライバインストールした後に、Service Pack のアップデートを行うと PSeries ドライバは無効にされてしまいます。Service Pack インストール後、必ず PSeries ドライバの再インストールを行って下さい。



1. PSeries ドライバのインストールの後に Service Pack のアップデートを行うと OS 標準の PC カードドライバが有効になります。この状態で、3.3V 専用の 16 ビット PC カードを挿入すると「**1-2. 注意・制限事項**」で説明したようにカードが破損する恐れがありますのでご注意ください。

2. 弊社の製品サポートをお受けになると、SP6 アップデートの確認をさせていただくことがあります。アップデートが行われていないとサポートが受けられません。事前に SP6 以上のアップデートを行って下さい。

ATA Flash カードを REX-PCICA1 のスロットに挿入したままパソコンを起動すると、最初のブルー画面の所でパソコンがハングアップしたり、正常に起動しても ATA Flash カードにアクセスできない場合があります。また、NT 診断プログラムで Atdisk ドライバから割り込みが他のデバイスと共有されていると表示している場合があります。

WinNT の Atdisk ドライバは他のデバイスと共有できない割り込み(通常 IRQ9)を要求します。BIOS が正しく割り込みを割り当てられるようにするためには、BIOS 設定画面を起動し(通常、パソコン起動時に”Del”もしくは”F2”キーを押す)”ISA/PnP configuration”の中の IRQ を”In use by ISA”に設定変更します。これにより、BIOS がこの割り込み番号を他の PCI デバイスに割り当ててしまう不具合が解消されます。

WinNT も正常に起動し、Atdisk ドライバも正常に開始されており、他に不具合が見つからない場合は、Disk Administrator よりドライブレターの割り当てを行ってみてください。ATA ディスクドライブにアクセスできるようになることがあります。

ATA Flash カード以外の PC カードについても、NT 診断プログラムで割り込みの競合がある場合は上記 BIOS 設定から該当の割り込み番号を”In use by ISA”に設定変更することで不具合を回避することができます。

サポートセンターへのお問い合わせ

技術的なご質問やご相談の下記窓口を用意していますのでご利用ください。

☛ サポート窓口

ラトックシステム株式会社

サポートセンター

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル

TEL:06-6633-6766 (大阪) /03-3837-3020 (東京) FAX:06-6633-3553

☛ サポート受付時間

月曜 - 金曜 (祝祭日は除く) AM 10:00 - PM 1:00、PM 2:00 - PM 5:00

また、インターネットのホームページでも受け付けています。

<http://www.ratocsystems.com/>



- 1.ご質問はRATOC REX-PCICA1 質問用紙に内容を記載の上 FAX にて送付願います。
- 2.ご質問に対する回答は上記営業時間内の処理となりますのでご了承ください。
- 3.ご質問の内容によりましてはテスト・チェック等の関係上、時間がかかる場合もございますので予めご了承ください。

保証と修理について

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理いたします。故障と思われる症状が発生した場合は、本書を参照し、接続や設定が正しく行われているかどうかご確認ください。現象が改善されない場合は、弊社修理センター宛に製品をお送りください。修理に関しては、弊社サポートセンターにご相談ください。

<製品送付先>ラトックシステム株式会社 修理センター

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル (TEL)06-6633-6766

<送付頂くもの> ・本製品の保証書の原本

・製品

・質問用紙(本書巻末の「質問用紙」に現象を明記ください)

<送付方法>

宅急便等、送付の控えが残る方法でお送りください。送料は送り主様をご負担ください。返送は弊社が負担いたします。輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

<修理費用 >

保証書に記載の保証期間・条件のもと、有償となる場合があります。詳細は、保証書をご覧ください。

RATOC REX-PCICA1 質問用紙

(拡大コピーの上ご記入ください)

下記ユーザ情報をご記入願います。

法人登録の 方のみ	会社名・学校名				
	所属・部署				
氏名					
住所	〒				
TEL		FAX		E-Mail	
製品型番	REX-PCICA1	シリアル		NIFTY	
販売店名			購入年月日		

下記パソコン環境情報をご記入願います。

パソコン・マザーボード	メーカー名		
	機種名		
BIOS とバージョン	BIOS メーカー名		
	BIOS バージョン		
ご利用の OS	チェック	OS 名	サービスパックもしくはバージョン
		Windows 98SE	
		Windows Me	
		Windows 2000	
		Windows XP	
		Windows NT4.0	
ご利用の PC カード			
不具合もしくは質問内容を記載願います。			
添付資料：			